

授業科目名	【Gカリキュラム】 商法概論 【EFカリキュラム】 商法概論	必修	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	“商法は経済社会の基本ルールです”	担当者	織田 恭一・仲宗根 京子・星光			
授業概要	<p>【(銀行実務) 経験を生かした授業：織田】</p> <p>商法分野の内容を構成する法律は多いが、大学生が必須とされているのは①会社法、②手形・小切手法、③商法総則・商行為である。特にその中心を為す①「会社法」は、まさに会社を巡る法律関係を学ぶものであるから、担当教員は会社実務を経験している者が好ましい。また、②「手形・小切手法」は銀行実務や会社実務と密接な関係があり、③「商法総則・商行為」の内容である「商業登記」「支配人」「商行為」も会社実務や銀行実務と極めて密接な関係がある。そこで、全授業時間を通して、銀行実務経験(1970-2001)を踏まえ、「商法」の概論を学ぶ。</p> <p>【概要】</p> <p>商法は民事法の中心をなす重要法律であり、企業に就職する場合や各種国家試験を受験する場合には必須の科目である。その中でも、特に、会社法は商事法の中心をなす法であり、毎年のように改正が行われており、最近の東芝事件や日産自動車を巡る問題でもわかるように実社会に密着した法である。そこで、本授業では、履修者が商法全般について広く知識を修得することを目指し、併せて、その他の法律とどのような関わり合いを持っているのか等に関しても分りやすく概説する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>2年次以降に、会社法、手形・小切手法、商法総則・商行為法などを履修するための、商法全般の基礎的理解が得られるようになる。</p>					
履修条件	・第1回の授業に必ず出席すること(授業のガイダンス、授業外学習を含めた学習方法、成績評価方法を説明します。)					
教科書・参考書	【教科書】「伊藤真の商法入門」(日本評論社) 【参考書】 特になし。					
授業回数	授業内容					
1	商法概論学習のガイダンス、会社の意義、種類と責任の態様					
	予習：会社の種類、責任の態様について(10頁から22頁)(計90分程度)。		復習：有限責任・無限責任、間接責任・直接責任について徹底理解(計90分程度)。			
2	株式会社の設立と資本金制度					
	予習：設立と資本金制度(23頁から44頁)(計90分程度)		復習：設立の手續と資本金制度について徹底理解(計90分程度)。			
3	株主の権利と株主平等の原則					
	予習：権利の内容と平等の原則(45頁から49頁)(計90分程度)。		復習：株主の権利の内容と平等の原則について徹底理解(計90分程度)。			
4	投下資本の回収と株式譲渡自由の原則					
	予習：回収の方法と株式譲渡自由の原則(50頁から58頁)(計90分)。		復習：回収の方法と株式譲渡自由の例外について徹底理解(計90分程度)。			
5	会社の機関とその役割、株主総会					
	予習：機関の内容と株主総会(59頁から68頁)(計90分程度)。		復習：議決権の内容と総会屋対策について徹底理解(計90分程度)。			
6	取締役会と取締役の義務					
	予習：取締役会の権限と取締役の義務(69頁から77頁)(計90分)。		復習：善管注意義務&忠実義務について徹底理解(計90分程度)。			
7	取締役の責任、代表取締役、表見代表取締役					
	予習：(代表)取締役の責任等(77頁から85頁)(計90分程度)。		復習：経営判断の原則と表見代表取締役について徹底理解(計90分程度)。			
8	第1回理解度テスト及び解説					
	予習：第1回～第7回(1頁から85頁)(計90分程度)。		復習：第1回理解度テスト及び解説の徹底理解(計90分程度)。			
9	指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社					
	予習：両会社の内容について(91頁から96頁)(計90分程度)。		復習：両会社と通常会社との相違について徹底理解(計90分程度)。			
10	手形行為の性質と権利の発生					
	予習：行為の性質、交付欠缺理論(142頁から155頁)(計90分程度)。		復習：手形行為の性質について徹底理解(計90分程度)。			
11	手形の裏書、善意者保護の制度					
	予習：裏書の効力、人的抗弁の切断(162頁から178頁)(計90分)。		復習：人的抗弁の切断について徹底理解(計90分程度)。			
12	手形の紛失・盗難、小切手の特徴					
	予習：手形の紛失・盗難、小切手の特徴(177頁他)(計90分)。		復習：手形の紛失・盗難における手續、小切手の特徴について徹底理解(90分程度)。			
13	商号、名板貸責任、商業登記					
	予習：商号、名板貸責任、商業登記(184頁から192頁)(計90分)。		復習：商業登記の効力について徹底理解(計90分程度)。			
14	支配人、表見支配人、営業譲渡					
	予習：支配人、表見支配人、営業譲渡(192頁から197頁)(計90分)。		復習：表見支配人について徹底理解(計90分程度)。			
15	第2回理解度テスト及び解説					
	予習：第9回から第14回(91頁から197頁)(計90分程度)。		復習：第2回理解度テスト及び解説について徹底理解(計90分程度)。			
評価方法	理解度テスト(2回)で評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現が不十分である者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、理解度テスト欠席など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	真に実力をつけたい学生は、極力、全ての回に出席すること。 ※G 刈：法【必修】 刈°【必修】 情【必修】 / EF 刈：法【必修】 刈°【必修】 経【必修】					